Storm and Stress の生起要因と性差に関する検討

ーライフヒストリー理論の観点からー

○杉山宙¹

(¹ 東京大学大学院教育学研究科)

キーワード: Storm and Stress、思春期、ライフヒストリー理論

Examination of the Factor Related to the Occurrence and the Gender Differences of Storm and Stress.

Hiroshi SUGIYAMA¹

(¹ Graduate School of Education, University of Tokyo)

Key Words: Storm and Stress, Adolescence, Life History Theory

目的 いわゆる思春期の行動的/情動的荒れを意味する Storm and Stress は「親子間葛藤」「リスク行動」「情緒的不安定」の 3 つによって特徴付けられるとされている(Arnett, 1997)。従来 Storm and Stress は青年の健全な発達のため、必要不可欠と考えられてきた(e.g., Freud, 1936)が、近年ではその程度に広範な個人差が存在することが明らかとなっている(e.g., Eccles et al., 1993)。しかしながら、この大きな個人差が存在する意義について、明確な答えは出ていない。

一方で近年、進化心理学や進化生物学の領域において、進化適応的な個人差の理論である「ライフヒストリー理論(以下 LH 理論)」が着目されている。LH 理論では、生物が生涯にいて有限な時間や資源を生存や繁殖といったタスクにどのように配分するかという配分戦略には大きく 2 通り(Table1)があり、それが 1 次元上の個体差・個人差として存在していると考えられている(e.g., Ellis, et al. 2012)

Table1. 2 つのライフヒストリー戦略

長期的戦略	短期的戦略
特徴・長く成長(自分への投資)を続ける	・早めに成長を切り上げる(早期に成熟する)
・比較的遅く、少数の子どもを持つ	・比較的早く、多くの子どもを持つ
・少数のパートナーと関係を持つ	・多くのパートナーと関係を持つ
長所・安定した、安全な環境では、より多くの資源を獲得し、「優秀な」子孫を残すことができる	・不安定で、過酷な環境でも、確実に子孫を残すことができる

Ellis ら (2012) は「リスク行動」が短期的戦略においては適応的な行動であることを論じている。また Belsky(1990)によれば、思春期は LH 理論の観点から、初めて成長が繁殖かというタスク戦略が生じる時期であり、「親子間葛藤」「情緒不安定」は LH 戦略の現れであるとしている。このように、Storm and Stress は LH 戦略の短期的傾向を反映して生じている可能性がある。また同様に、従来明らかになっていた Storm and Stress の個人差要因は個人が LH 戦略を決定するための手がかりである可能性がある。

そこで本研究では、Storm and Stress と LH 戦略、および従来 Storm and Stress に関連する研究で明らかになっていた諸要因との LH 戦略との関連について、性差に着目しつつ検討することを目的とする。

方法 2014 年 10-12 月に、関東周辺の国立・私立大学生(男性 220 名、女性 324 名、平均年齢 20.01 歳、 $SD = 2.74$)を対象に質問紙調査を行った。LH 戦略、Storm and Stress の 3 要素および Storm and Stress の予測因として明らかになっている養育態度と愛着スタイル、経済状況についてたずねた。

結果 まず長期的戦略傾向と Storm and Stress の 3 要因について対応のない t 検定で性差を比較した。その結果、リスク行動と父親葛藤で女子よりも男子の方で有意に得点が高く、長期的戦略が低かった。

Table2. 長期的戦略と Storm and Stress の性差 (男子-女子)

	長期戦略	抑うつ	リスク行動	母親葛藤	父親葛藤
点差	-.022	-.04	.21	.05	.40
t	-4.24 ***	.70 <i>ns</i>	3.83 **	.65 <i>ns</i>	4.28 ***

次に Storm and Stress と長期的戦略との関連について、他の Storm and Stress を統制した偏相関係数を算出した。その結果が、抑うつと母親葛藤で有意に長期的戦略と負の相関があり、男子のみ父親葛藤で有意なリスク行動で有意傾向な負の相関があった。

Table3. 長期的戦略との偏相関係数 (r)

	抑うつ	リスク行動	母親葛藤	父親葛藤
男子	-.27 ***	-.12 †	-.20 **	-.20 **
女子	-.25 **	-.05 <i>ns</i>	-.24 **	.00 <i>ns</i>

最後に、従来明らかになっている Storm and Stress の要因が、実際には LH 戦略の予測因である可能性を検討するために重回帰分析を行なった。その結果、概ね仮説通りに Storm and Stress の予測因は同じように長期的戦略を予測していた。ただし、一部の変数では予測力がなく、また女子よりも男子で予測力が小さい傾向にあった。

Table4. 長期的戦略傾向の重回帰分析結果(B)

	男子	女子
PBI 養護	.17 *	-.00
PBI 過保護	.07	.07
愛着不安	-.29 **	-.39 **
愛着回避	-.26 **	-.11 +
不安*回避	.06	.11 +
経済状況	-.05	.19 **
公平性	.02	.11
R^2	.21 ***	.24 ***

考察 LH 戦略と Storm and Stress の得点は概ね先行研究通りの性差が得られた。特にリスク行動については、特に男性において適応性のある行動であることが先行研究で論じられており、Storm and Stress 得点および LH 戦略との関連の性差は、それを示すものといえる。ただし、本研究で得られたサンプルは男女の数に偏りがあり一部の結果については、慎重になる必要がある。